

農家の長期不受胎牛を受入れ

肉用牛繁殖農家には、経営の安定が見込まれる「一年一産」という言葉があります。しかし、285日の妊娠期間を経て分娩後、受胎しない牛（長期不受胎牛）も一部存在し、農家経営の障害となっています。

当场では平成28年から農家の長期不受胎牛を預かり、受胎させて、返却する「繁殖雌牛預託事業」を実施しています。今年度も府内6戸の農家から12頭を預かり、放牧場での運動や青草摂取などでリフレッシュさせ、集中的な繁殖管理を行っていきます。



導入初日

放牧場で放し飼い

畜産センター碓高原牧場